

常光小学校（地域）意見交換会

令和4年6月12日（日） 11時00分～
常光小学校 体育館

① 参加者
4人

② 出席者
齊藤部長 大島参与 上岡副部長 鳥沢副部長 新井主査 堀主任 石井主事

③ 以下、主な意見要旨

質問者①

・令和6年度から9年度が統合年度となっているが、具体的な統合年度は決定していないのか。

⇒統合まで最短で進んだ場合の統合年度が令和6年度である。

また、令和9年度までとしているのは、入学児童数が一桁になることが推測され、複式学級の可能性が出てきてしまうため、一つの目安としているものである。

・笠原小学校のスクールバスは登下校で運行しているのか。

⇒登下校で運行している。

・笠原小学校の統合の際は、統合になる前の令和2年度から、登校のみ通学支援を実施していたと聞いたが。

⇒令和2年度の時点で笠原小学校を希望する児童が0人になり、保護者の要望と審議会からの答申を踏まえて登校のみ運行した経緯はある。

・スクールバスの運行基準は。

市で定めている基準は直線距離で2km。なお、国で定めている通学距離の基準は道のりで4km。

・乗降場所までは歩いてきてもらうのか。

⇒そのように考えている。それぞれの家の前に停車することは考えていない。

・2kmといっても厳密にラインを引いて考えるのは難しいのではないか。

⇒2km圏内の方でも、乗降場所まで歩く方が近いのであれば、安全面を考慮した上で、スクールバスの利用を許可することも考えている。

<p>質問者②</p>	<p>・乗降場所までは各々で来てもらうのか。 ⇒個々で来るのか、通学班を組んで来るのか、PTA や学校と連携し、今後検討する必要がある。</p> <p>・子どもだけで歩くと危険な箇所は多い。乗降場所までの道のりで危険箇所がないよう検討してほしい。 ⇒危険な場所を通ることのないよう、乗降場所の設置を検討している。場合によっては、横断歩道の設置も含めて警察等に要望していきたい。</p> <p>・小規模校はデメリットもあるが、悪いことばかりではない。 ⇒小規模校の良さというのは、教育委員会としても理解している。 しかし、男女比の偏りや人間関係の固定化、先生の中でも情報交換や切磋琢磨する機会が失われるといったデメリットがある。 また、現在定められている 35 人学級は、すべての学級が 35 人いるわけではなく、一クラスあたりの人数は約 30 人前後となっている。</p>
<p>質問者③</p>	<p>・常光小学校の卒業生だが、この学校が好きなので残してほしい。また、避難所が無くなってしまうのもどうなのかと思う。 ⇒今後、避難所としての機能は検討していくことになる。また、跡地活用についてもみなさんの意見を聞きながら進めていき、常光祭りや、蛍の集いといった地域の催しも上手く継承していければと考えている。</p>
<p>質問者①</p>	<p>・乗降場所に遅れた場合、どうするのか。 ⇒スクールバスの運行時間は決まっている。笠原小学校の場合は、休む場合に保護者が連絡してくれているが、連絡がなくても時間になれば発車する。 乗り遅れた場合には、現在、通学班を組んでいるときと同様、保護者の責任で送迎してもらうことになる。</p>
<p>質問者③</p>	<p>・常光小学校に通学していたときは、遅刻した場合は、走って通学班に合流することもあった。</p>
<p>質問者②</p>	<p>・子どものことなので、お腹が痛くて集合場所に来れなかったりと、想定できないことは多々ある。 学校がなくなることで、見守り隊や先生がいなくなり、通学途中の見守りが難しくなる。 ⇒笠原小学校では、見守りや先生の役割も統合前と変わらずお願いしているところである。鴻巣中央小学校の先生が笠原地域まで見守り、保護者や地域の方も引き続き登下校の際に協力いただいている。常光小学校でも同様に考えている。</p>
<p>質問者①</p>	<p>・放課後子ども教室に参加する際は、親が送迎している。これは統合後も同じなのか。 ⇒何か特別な行事の際は親の送迎が必要。常光小学校の時と同じように考えてほしい。</p>

・放課後児童クラブはどうなるのか。

⇒今後、どれくらいの方が常光放課後児童クラブを希望するのか調査する。それらを考慮して存続するのかどうか検討していくことになる。

笠原小学校の統合の際も、当初は残してほしいという意見が多かった。しかし、友人関係を考えた結果、鴻巣中央小学校の放課後児童クラブを希望し、最終的に笠原を希望したのが2人のみとなり廃止した経緯がある。

・和太鼓についてだが、鴻巣中央小学校に移管するのか、それとも、常光小学校に残していくのか。

⇒常光地域の子どもたちを対象に和太鼓を活用していくのか、それとも、鴻巣中央小学校に移管して、全地域の子どもを対象に活用していくのかについては、今後、意見を聞きながら 一緒に検討していきたい。
